授業科目名： 教育課程論（中等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： ２単位	担当教員名：北村克久 担当形態：単独
科　目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育課程の意義及び編成の方法 （カリキュラム・マネジメントを含む。）		

「学位授与の方針」との関係

星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージヨン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。

A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。

B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。

D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。

F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

（１）学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を説明できる

（２）教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し、教育課程の構造を説明できる（教育課程編成の基本原理等）

（３）教科等、横断的な視点に立ったカリキュラムを把握し、学校の教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解し、その視点に基づいた考えをもつことができる

授業の概要

中学校・高等学校の学習指導要領を基準として、各学校において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラムマネジメントを行うことの意義を理解する

授業計画

第１回：教育課程と学習指導要領

第２回：学習指導要領の法的拘束力及び最低基準

第３回：育成を目指す資質・能力と教育課程

第４回：各学校の教育課程と教育課程の編成及び全体計画

第５回：「総合的な学習の時間」と学校の教育課程

第６回；「特別の教科・道徳」と教育課程

第７回；「特別活動」の教育課程とホームルーム経営・キャリア教育 第８回：外国につながる子どもの指導と教育課程 第９回：各教科等の指導計画の作成と年間指導計画 第10回：教育課程の実施と学習評価 （小中一貫教育、中高一貫教育、コミュニティースクール等） 第11回：ＩＣＴの活用と教育課程 第12回：特別支援教育と教育課程 第13回：不登校の子どもの対応や「教育課程特例校」の教育課程 第14回：学習状況調査の役割と教育課程 第15回：カリキュラムマネジメント 定期試験
教科書 ①中学校学習指導要領解説総則編　文部科学省　東山書房　ISBN978-4491034614 ②高等学校学習指導要領解説総則編　文部科学省　東洋館出版　ISBN 9784491036397
参考文献 小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、 特別支援学校学習指導要領、国立教育政策研究所「教育研究情報データベース」「学数指導要領の一覧」のインターネットサイト（https://erid.nier.go.jp/guideline.html）
学生に対する評価 スクーリング評価（２５％）、レポート評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。